

良善寺の例會報告

戌辰殉難者法要と講演會

史談會員菊地康雄

講演があつて紹士の先覺の治

續を發表され多數の參学者

に深い感銘を與えた。

島木先生は本紙に數次に涉

て研究を發表されておられ

るので御承知の通りであるが

木魚の音が静寂なこの室より

安藤對馬守研究の續である

平安會に就いて私は知る處全

くないが、平慈壽士の方々の

講經が終ると戌辰殉難者の氏

名と法名を讀み上げる。會長

山森先生が代表して燒香した

会場が賀渡計画書を地方事務所

に初まつて講經が行はれた

午後一時一同著席平安會の

燒香があつた。

明治二十三年八月建立の「

戌辰戰死者追魂碑

と彫された高い石碑の左に

當日は本會社話人で磐城女

流の日本脳炎

なる事があつた。

君(二二)仲間町は認入

は遂に平市にも侵入

し平保健所の發表に

ます。益威を振る

者から何等の届出もない

ので、石城地方の日本脳炎

一向に判らずにいたもので、

十三日夕刻平保健所へ聞質し

結果、一係員から「市の方

へ連絡しなかつたのは濟まな

かった」との採擇のみで注意

を記す。

患者の發生したことであつた

と認められたため市では益々き

り立ち診断した医師につい

て調査したところ

精査検査をすべく縣から巡

回防課班も來て検査官を持

て連絡した。

患者の發生したことであつた

と連絡指導がまことに指摘

して非難している

たとおらず二十四日附本紙

が一方市衛生課では市内には

だこれに對し何等の対策も

たたゞおらず二十四日附本紙

によると中醫佐藤昭

君(二二)仲間町は認入

は遂に平市にも侵入

法定傳染病の發生があつたと

たこれに對し何等の対策も

たたゞお